

GUARDIAN シリーズ

# WEBGUARDIAN

ウェブガーディアン

Ver 3.6

■ URLフィルタリング機能

■ 送信データのコンテンツフィルタリング機能

■ 外部送信情報の保存機能

■ 8種類のアクセスログ表示機能

■ グラフや表を用いたわかりやすい9種類の統計情報表示機能



## 1. URLフィルタリング機能

～Web利用範囲のルール化～

企業におけるWebの利用は、低コストな情報収集ツールとして便利な反面、業務外利用による生産性の低下やマルウェアの侵入といったリスクも存在します。さらに、Webメールなどの外部送信による情報漏えい事故にも対策が求められています。WEBGUARDIANは、Web利用者、接続先、コンテンツフィルタリング結果を組み合わせることでアクセス条件ルールを定義することが可能です。ルールに違反したWebアクセスは、接続の禁止やリダイレクトによって業務外利用を抑制することで情報漏えい事故を未然に防ぎます。また、カテゴリー別に分類（業界最多の437カテゴリー）されたURLデータベースを搭載しているため、アクセス先の指定はリストから選択するだけです。データベースは専門の担当者が目視して登録しています。自動更新設定が可能のため日々の管理は必要ありません。



- 制御条件
  - Web利用者グループ（認証名 / IPアドレス / User-Agent）
  - 時間・曜日
  - アクセス先URL（URL / URL カテゴリー）拡張子との組合せ可能
  - アクセスメソッド（POST / PUT / GET / HEAD / WebDAV）
  - ダウンロードデータサイズ
  - 送信データコンテンツフィルタリング結果
- 制御処理
  - 基本処理（中継 / 試行 / 警告 / 禁止 / リダイレクト / オーバーライド）
  - 付随処理（管理者通知 / 警告・禁止ブロック画面カスタマイズ）

### ■ URLデータベースの大カテゴリー（2011年1月現在）

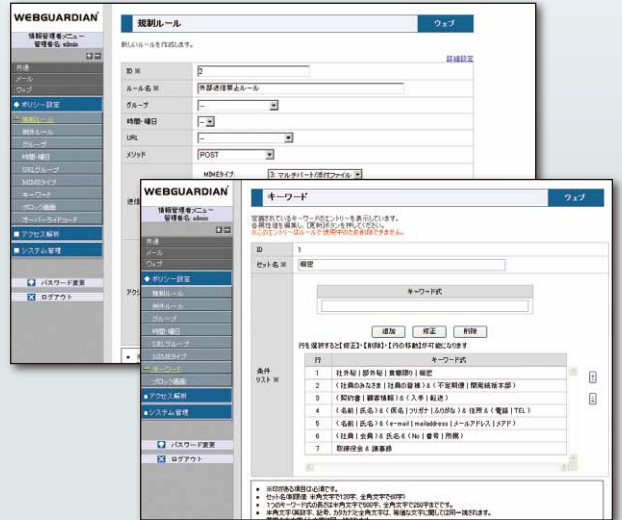
アダルト情報	マネー	漫画・アニメキャラクター	国家機関と政治家
ヌード	ショッピング	ライフスタイル	軍隊
出会い	ゲーム	テーマパーク	ゲーミング
チャット掲示板	アンダーグラウンド	不動産情報	学習塾・カルチャースクール
WebMail	武器	ダイエット・健康	地方情報
スポーツ	求人情報	美容・コスメ	一般情報
マリンスポーツ	宗教	ファッション	無料
ウィンタースポーツ	懸賞	ペット	ポータルサイト
スカイスポーツ	グルメ	オークション	温泉
アウトドアスポーツ	メディア	教育機関	医療
格闘技・武道	オカルト	学生	薬 / サプリメント
トラベル	クルマ・バイク	IT	季節物
ドラッグ	結婚情報と育児	ストレージとストリーミング	キッズ
未成年規制	エンターテインメント	モバイル	芸術と文化
ギャンブル	音楽	個人	ビジネス
差別と過激	エンターティナー	団体	ネットビジネス

\*上記64の大カテゴリーを業界最多（弊社調べ）の437小カテゴリーに分類しています。

## 2. コンテンツフィルタリング機能

～ドキュメントセキュリティのルール化～

内部統制を強化するためには、社外送信されるドキュメントがルールに基づいているか検査する必要があります。WEBGUARDIANは、ドキュメントに含まれるキーワードやファイルタイプ・送信データサイズなどの条件を組み合わせることでルールを定義することができます。WEBGUARDIANのキーワード検索機能は、登録キーワード数に依存しない高速な検査を実現し、キーワードルール数が増大してもスループットへの影響はありません。



- 送信データ検査
 

以下の条件を組み合わせたルール設定が可能です。  
\*HTTPSプロトコルを使用した通信は検査対象外です。

  - キーワード検査
    - 添付ファイル<sup>※1</sup>を含む送信データに特定のキーワードが含まれているか検査します。
  - データタイプ検査（ファイルタイプ検査<特許出願中> / MIMEタイプ検査 / 拡張子検査）
    - 添付ファイルの拡張子にとらわれず、実際のファイルタイプ<sup>※2</sup>にて検査します。
    - 拡張子が偽装されているかどうかも検査できます。
  - パスワードロック判定<sup>※1</sup>
    - 送信アプリケーションファイルのパスワードロックの有無を判定します。
  - データサイズ検査
    - 送信データの容量を検査します。
  - インスタントメッセージ検査
  - 個人情報検査（特許出願中）
    - 該当する個人情報と考えられるデータの検出数や種別数、組み合わせを検査し、個人情報が含まれる割合を数値化します。

以下の属性情報を検査します。

  - 氏名
  - 住所 / 郵便番号
  - 電話番号
  - メールアドレス
  - 生年月日 / 年齢
  - 組織名
  - クレジットカード番号

### ■ 動作環境

• WEBGUARDIAN Ver3.6

	Linux版	Solaris版
OS	Red Hat Enterprise Linux AS / ES Ver 4 Red Hat Enterprise Linux Ver 5 (Red Hat Enterprise Linux 5 Desktopには対応していません) ※あらかじめ以下のパッケージのインストールが必要です。 ed, tcl, compat-db, compat-libstdc++-mt-st, libstdc++-devel	Solaris 9 / 10 (インテル版Solarisには対応していません)
コンピューター本体	Red Hat Enterprise Linuxが動作するIA-32 (Pentium以上)、インテル 64プロセッサ (Itanium 2は非対応)	SUN SPARCサーバーおよび互換機
ハードディスク (最小)	WEBGUARDIANをインストールする領域として、/optに1GB以上、/varに100MB以上の空き容量が必要です。	
メモリー (最小)	1GB	

### 3.

## 発信記録・受信記録の保存と 閲覧・検索・監査

～Web利用状況の把握～

Webメールやメッセージャー、掲示板、オンラインストレージ、SNSなど、現在のWeb利用環境は単なる情報収集ツールの枠組みを超え、情報発信ツールの側面を備えるようになりました。Webの利用状況を把握するためには、アクセス先の記録だけでは不十分で、どのようなデータが外部送信されているのかを確認する必要があります。

WEBGUARDIANを導入すると、いつ、誰が、どのサイトにアクセスしていたのかという情報を記録するだけでなく、外部送信されたデータを保存し、内容を閲覧することが可能になります。さらにWebメールやメッセージャーなどのサービスに対する送信データは、宛先や標頭、本文を詳細に確認することができます。また、WEBGUARDIANは、Webメールやメッセージャーの送信データに対して監査証拠を記録できるため、効率的な利用状況監査が可能です。



#### ● Webアクセス記録の保存・閲覧

- 外部送信ログ / 規制ログ / 例外ログ / SSLログ / アクセスログの保存
- 外部送信データの保存 / 内容閲覧
- 送信データダウンロード

以下の条件による絞り込み検索が可能です。

- 期間 ・ 時間範囲 ・ 利用者(認証名 / IPアドレス / グループ)
- アクセス先URL (URL、カテゴリ、URLグループ)
- 送信データタイプ (MIMEタイプ、添付ファイル(送信のみ))
- 送受信サイズ
- サービス利用状況の閲覧
- 検索エンジン ..... 検索エンジンでキーワード検索を行ったログ
- Webメール ..... Webメールで本文 / 添付ファイルの送信を行ったログ
- メッセージャー ..... インスタントメッセージャーで送信を行ったログ
- ソーシャルウェブ ..... SNSで送信を行ったメッセージャーログ

以下の条件で操作記録を絞り込み検索が可能です。

- 期間 ・ 時間範囲 ・ 利用者IPアドレス / 認証名 ・ サービス名
- 送信データ監査

### 4.

## 監視・レポート機能

～システム運用・管理状況の把握～

環境の変化に対応して、情報セキュリティポリシーは更新する必要があり、見直しには現状ルールの有効性判断が求められます。

WEBGUARDIANは、Webの利用状況を詳細に把握するために、各種統計情報を集計する機能を備えています。Webアクセス状況集計に加え、ルール適用状況を確認することができます。また、機密情報を取り扱うシステムには、管理者の運用状況を把握し越権行為の有無の確認ができることが必須となります。

WEBGUARDIANは、管理者の各種操作を記録し、検索・閲覧する機能を備えているため、管理業務の状況把握が可能です。

- 各種統計情報 (リスト表示・グラフ表示) 以下の統計情報を集計可能です。
  - 処理総数 (通信比率、中継 / 規制比率、規制内容比率) ・ ルール適用状況
  - カテゴリ別集計 (外部送信件数、規制件数、例外ルール適用件数、SSL通信件数、アクセス件数)

#### ● 監査実施記録

各管理者のWebメール監査進捗状況を確認できます。

監査、閲覧、保留処理それぞれについて実施数 / 実施率などを集計します。

#### ● システム操作記録

各管理者がシステムで行った操作を確認できます。

ログイン、ログアウトやルール変更、メール監査といった操作を一覧表示したり、統計レポート表示することが可能です。

### 5.

## システム管理機能

～システム運用権限の設定、データ保全～

効率的にシステムを運用するためには、各管理者の操作権限、各種ログへのアクセス権限などを適切に設定し、管理業務を部門別単位などに委譲することが求められます。

WEBGUARDIANは、管理者ごとに利用可能な機能やアクセス可能なログを限定することができます。

サーバー運用面においては、各種データのバックアップ機能により、記録の長期保存や障害時の対応が可能となります。また、サーバーの複数台構成が可能であり、利用者数に応じた分散構成や、障害時にそなえた冗長構成をとることが可能です。

#### ● 管理者アカウント

- 各種操作 ・ 閲覧権限設定 ・ 管理対象、除外対象設定 ・ アカウント情報のLDAP連携

#### ● 利用者認証設定

- LDAP認証 ・ 独自認証 ・ シングルサインオン (NTLM認証)

#### ● バックアップ / リストア

- 各種システム設定情報 ・ ログ / 送信データアーカイブ

#### ● システム可用性

- 検査サーバー複数台構成 ・ 管理サーバー冗長化

### ■ WEBGUARDIANスペックサイジング例 (Linux版)

ユーザー数	CPU	メモリー	ハードディスク (空き容量)
500名以下	クアッドコア インテル Xeon プロセッサ (5,500番台以上) 2.0GHz x1 以上	3GB以上	約150GB以上
1,000名以下		4GB以上	約250GB以上
2,000名以下		5GB以上	約500GB以上
3,000名以下		6GB以上	約750GB以上
4,000名以下		7GB以上	約1,000GB以上
5,000名以下		8GB以上	約1,250GB以上

- 1台の物理サーバーに対しWEBGUARDIANのみ運用することを想定しています。
- 1台の物理サーバーに管理サーバーと検査サーバーを導入することを想定しています。
- ログの保存期間は365日を想定しています。
- 1名あたりの平均Webアクセス数は1,000件/日を想定しています。
- アクセスログの検索に関する注意点として、Webアクセスが集中している、もしくは、検索対象のアクセスログのデータ量が多い状況では、タイムアウトが発生し検索結果が閲覧できない場合があります。その場合、検索範囲の絞り込みや、ハードウェアスペックの強化を行ってください。
- Solaris版、上記以上のユーザー数、冗長化、GUARDIANWALLとの統合管理などをお考えのお客さまは弊社までご相談ください。

#### ※仮想環境での利用について

- 仮想化ソフト (VMware ESX 3.5 [Update 2以上]、Oracle VM 2.1.2) で動作保証しているOSで、かつGUARDIANWALLおよびWEBGUARDIANのサポート対象OSのみゲストOSとしてお使いいただけます。
- 弊社製品に関するお問い合わせには対応いたしますが、仮想化環境の設定方法などについてはお受けできません。
- 仮想化環境での動作については確認しておりますが、サイジングについては、上記をご参考に、お客さまにて検討をお願いいたします。

## WEBGUARDIANディスクサイジング例

●1台構成時(管理サーバーと検査サーバーを同じサーバーで構成する場合)

・上位プロキシサーバーが存在しても問題ありません。

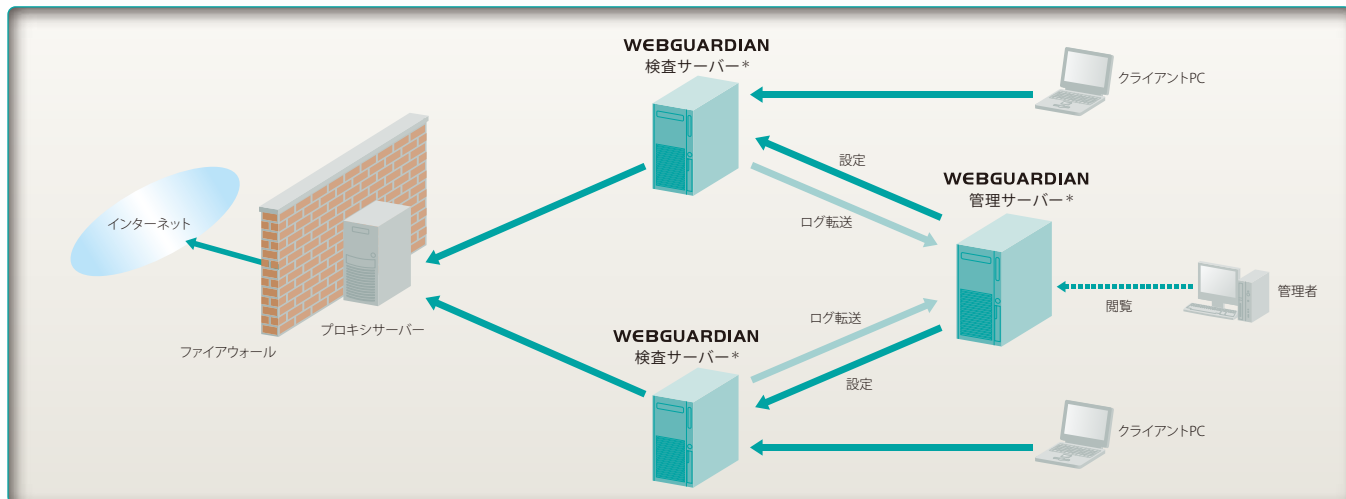


\* DMZへの設置は推奨しません。

● 想定条件	・Webユーザー数:500人 ・ログの保存期間:180日	・1ユーザーあたりの1日あたりの平均アクセス数:1,000アクセス/人日 ・バックアップされたログをリストアする範囲:30日
ログ容量の試算例	Webユーザー数 500人 × 1ユーザーあたりのアクセス数 1,000アクセス/人日 × 平均ログサイズ 640B × ログ保存期間 180日	= 57.6GB [必要なディスク容量]
リストア領域の試算例	Webユーザー数 500人 × 1ユーザーあたりのアクセス数 1,000アクセス/人日 × 平均ログサイズ 640B × リストアする範囲間 30日	= 9.6GB [必要なディスク容量]
キャッシュ容量の試算例	キャッシュ有効期間 1日 × ユーザー数 500人 × 平均キャッシュサイズ 100KB × 1ユーザーのアクセス件数/日 1,000アクセス/人日 × キャッシュ保存率 10%	= 5GB [必要なディスク容量]

●複数台構成時(管理サーバー1台と検査サーバー2台で構成する場合)

・上位プロキシサーバーは必須ではありません。



\* DMZへの設置は推奨しません。

● 想定条件	・Webユーザー数:2,000人 ・ログの保存期間:180日	・1ユーザーあたりの1日あたりの平均アクセス数:1,000アクセス/人日 ・バックアップされたログをリストアする範囲:30日
ログ容量の試算例 (管理サーバー)	Webユーザー数 2,000人 × 1ユーザーあたりのアクセス数 1,000アクセス/人日 × 平均ログサイズ 640B × ログ保存期間 180日	= 230.4GB [必要なディスク容量] ※管理サーバーのログ保存ディレクトリーの初期値は、/var/opt/Guardian/Admin/webです。
リストア領域の試算例 (管理サーバー)	Webユーザー数 2,000人 × 1ユーザーあたりのアクセス数 1,000アクセス/人日 × 平均ログサイズ 640B × リストアする範囲間 30日	= 38.4GB [必要なディスク容量] ※リストアディレクトリーは、管理サーバーにのみ必要です。任意のリストア専用パーティションを指定します。
ログ転送処理用ディレクトリーの試算例 (管理サーバー)	Webユーザー数 2,000人 × 1ユーザーあたりのアクセス数 1,000アクセス/人日 × 平均ログサイズ 640B × ログの転送対象期間 1日	= 1.3GB [必要なディスク容量] ※管理サーバーの/opt/Guardian/Admin/tmp領域以下に、上記以上の容量が必要となります。
ログマージ処理用ディレクトリーの試算例 (管理サーバー)	Webユーザー数 2,000人 × 1ユーザーあたりのアクセス数 1,000アクセス/人日 × 平均ログサイズ 640B × 2	= 2.6GB [必要なディスク容量] ※Linux版では、tmp領域以下に、上記以上の容量が必要となります。
ログ容量の試算例 (検査サーバー)	Webユーザー数 2,000人 × 1ユーザーあたりのアクセス数 1,000アクセス/人日 × 平均ログサイズ 640B × ログ保存期間 180日 ÷ 検査サーバー台数 2台	= 115.2GB [必要なディスク容量] ※検査サーバーのログ保存ディレクトリーの初期値は、/var/opt/Guardian/Admin/WGです。
ログ転送処理用ディレクトリーの試算例 (検査サーバー)	Webユーザー数 2,000人 × 1ユーザーあたりのアクセス数 1,000アクセス/人日 × 平均ログサイズ 640B × ログの転送対象期間 1日 ÷ 検査サーバー台数 2台	= 0.6GB [必要なディスク容量] ※検査サーバーの/opt/Guardian/Admin/tmp領域以下に、上記以上の容量が必要となります。
キャッシュ容量の試算例 (検査サーバー)	キャッシュ有効期間 1日 × ユーザー数 2,000人 × 平均キャッシュサイズ 100KB × 1ユーザーのアクセス件数/日 1,000アクセス/人日 × キャッシュ保存率 10% ÷ 検査サーバー台数 2台	= 10GB [必要なディスク容量]

※ 平均ログサイズ(640B)は、以下の環境を想定したものです。  
 ・POSTリクエストは、全リクエストの1%  
 ・平均POSTリクエストサイズは、50KB  
 ※ 検査サーバー複数台構成は、Linux環境でのみ可能です。  
 ※ 1KB=1,000Bで試算しています。

■ 製品価格

WEBGUARDIAN 一般向けライセンス			
ユーザー数	新規通常価格(税別) (契約期間1年)	新規乗換価格(税別) (契約期間1年)	更新価格(税別) (契約期間1年)
25	¥ 150,000	¥ 75,000	¥ 75,000
50	¥ 250,000	¥ 125,000	¥ 125,000
75	¥ 337,500	¥ 168,750	¥ 168,750
100	¥ 400,000	¥ 200,000	¥ 200,000
200	¥ 600,000	¥ 300,000	¥ 300,000
300	¥ 750,000	¥ 375,000	¥ 375,000
400	¥ 800,000	¥ 400,000	¥ 400,000
500	¥ 950,000	¥ 475,000	¥ 475,000
600	¥ 1,080,000	¥ 540,000	¥ 540,000
700	¥ 1,120,000	¥ 560,000	¥ 560,000
800	¥ 1,200,000	¥ 600,000	¥ 600,000
900	¥ 1,260,000	¥ 630,000	¥ 630,000
1,000	¥ 1,300,000	¥ 650,000	¥ 650,000
1,500	¥ 1,425,000	¥ 712,500	¥ 712,500
2,000	¥ 1,800,000	¥ 900,000	¥ 900,000
2,500	¥ 2,125,000	¥ 1,062,500	¥ 1,062,500

WEBGUARDIAN アカデミック・ガバメント向けライセンス			
ユーザー数	新規通常価格(税別) (契約期間1年)	新規乗換価格(税別) (契約期間1年)	更新価格(税別) (契約期間1年)
25	¥ 105,000	¥ 52,500	¥ 52,500
50	¥ 175,000	¥ 87,500	¥ 87,500
75	¥ 236,250	¥ 118,125	¥ 118,125
100	¥ 280,000	¥ 140,000	¥ 140,000
200	¥ 420,000	¥ 210,000	¥ 210,000
300	¥ 525,000	¥ 262,500	¥ 262,500
400	¥ 560,000	¥ 280,000	¥ 280,000
500	¥ 665,000	¥ 332,500	¥ 332,500
600	¥ 756,000	¥ 378,000	¥ 378,000
700	¥ 784,000	¥ 392,000	¥ 392,000
800	¥ 840,000	¥ 420,000	¥ 420,000
900	¥ 882,000	¥ 441,000	¥ 441,000
1,000	¥ 910,000	¥ 455,000	¥ 455,000
1,500	¥ 997,500	¥ 498,750	¥ 498,750
2,000	¥ 1,260,000	¥ 630,000	¥ 630,000
2,500	¥ 1,487,500	¥ 743,750	¥ 743,750

・ライセンスは、WEBGUARDIAN を経由してインターネットに接続するクライアントPCの総台数分をご購入ください。  
 ・上記料金には、契約期間中のバージョンアップ媒体送付ならびに電話・E-mailによるユーザーサポート、URLデータベース更新の権利が含まれます。  
 ・2,501 ライセンス以上の価格は、別途お問い合わせください。  
 ・WEBGUARDIAN Ver3.3以前にご購入のお客さまは、上記価格とは異なりますので別途お問い合わせください。  
 ・アカデミック・ガバメント向けライセンスをご購入いただけるお客さまは以下の通りです。

<アカデミック>

・文部科学省認可の学校法人および文部科学省が法で定める、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特殊教育諸学校、専門学校、高等専門学校、短期大学、大学、教育センターおよび教育研究所、生涯学習センター、在外日本人学校など  
 ・厚生労働省所管の保育園、雇用能力開発機構所管の職業訓練校、各省庁所管の大学校  
 ・厚生労働省所管のポリテクセンター  
 ・教育庁および教育委員会などが契約窓口になり、傘下の教育機関に配布する場合  
 ※ 下記のお客さまは対象外とさせていただきます。一般向けライセンスをご検討ください。  
 理容学校、美容学校、調理師学校、パソコン教室、塾、予備校、語学教室、財団法人、社団法人、宗教法人、医療法人など

<ガバメント>

憲法または法令によって定められた以下の機関  
 ・行政機関 ・立法機関(国会) ・司法機関(裁判所) ・中央銀行 ・地方公共団体(普通地方公共団体および特別地方公共団体)  
 ※ 下記のお客さまは対象外とさせていただきます。一般向けライセンスをご検討ください。  
 財団法人、社団法人、宗教法人、医療法人、政党、農業協同組合、労働組合など

※ 新規乗換価格にてご購入いただけるお客さまは以下の通りです。  
 ・他社Webフィルタリング製品(UTM製品含む)を利用中であるお客さまが新規で「WEBGUARDIAN Ver3.6」を購入する際に、一回限り適用いたします。  
 ・乗換価格の適用には他社Webフィルタリング製品のライセンス証書コピーを提出いただけます。  
 ・更新価格は、通常の更新価格となります。



電子メールからの情報漏えい対策ソリューション

**GUARDIANWALL**  
ガーディアンウォール

10年連続国内シェア1位<sup>※1</sup>  
 ~ 2,000社以上の導入実績をもつ純国産ソフトウェア ~

企業における電子メールの利用は、機密情報や個人情報の漏えいや誤送信などのセキュリティ上のリスクが増大しており、事故発生時には事業継続性に多大な影響を及ぼす場合があります。電子メールの管理にはフィルタリングによる適切な情報のコントロールと、アーカイブによる監査が求められています。「GUARDIANWALL」は、電子メールのフィルタリング・アーカイブ機能を備えた電子メール情報漏えい対策ソフトで、電子メール利用状況の見える化を促進するとともに内部統制の強化を提供します。



電子メール誤送信対策システム

**GUARDIAN CorrectMail**  
ガーディアン コレクトメール

電子メールを送信した後に、“宛先を間違えた”、“添付ファイルを付け間違えた”などの「しまった」を経験したことはありませんか?「GUARDIAN CorrectMail」は、そんな電子メールの「しまった」を取り戻す『電子メール誤送信対策システム』です。査閲とルールによるフィルタリング機能により、管理者の運用負担を抑えつつ、電子メールの誤送信対策を低コストで実現します。

※1：パスワードロック判定、およびキーワード検査が可能な添付ファイルは、Microsoft Word 6.0 / 7.0 (95) / 97 / 98 / 2000 / 2001 (Mac) / 2002 (XP) / 2003 / 2007、Microsoft Excel 4.0 / 5.0 / 7.0 (95) / 97 / 98 / 2000 / 2001 (Mac) / 2002 (XP) / 2003 / 2007、Microsoft Power Point 95 / 97 / 2000 / 2001 (Mac) / 2002 (XP) / 2003 / 2007、一太郎 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12 / 13 / Lite / 2004 / 2005 / 2006 / 2007、PDF 1.2 / 1.3 / 1.4 / 1.5 / 1.6 / 1.7 (Acrobat 3.0 / 4.0 / 5.0 / 6.0 / 7.0 / 8.0 / 9.0) です。Office 2003 のIRM (Information Rights Management) 機能にて制限をかけたファイルについては検査対象外となります。  
 ※2：対応するフィルタタイプはZIP、LHA、RAR、CAB、GZIP、BZIP2、Z、TAR、TEXT、PDF、DOC、PPT、JTD、HTML、XML、RTF、VSD、EXE、7ZIP、ARJ、RPM、DEB、ISO、MSI、HQX、AS、TNEF、SZDD、PACK です。  
 ※3：株式会社富士キメラ総研 2011 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧より

Microsoft、Windows、Excel、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。仕様は予告なく変更する場合があります。

販売元/



キヤノン IT ソリューションズ株式会社

セキュリティソリューション事業部

<http://canon-its.jp/>

〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11

TEL : 03-6701-3434 FAX : 03-6701-3471